

「愛は地球を救わない」？

Greatchain

2018/1/30

昨日の新聞の広告欄に「愛は地球を救わない」という本が出ていた。まことに馬鹿げたお願いで申し訳ないが、どなたか、買って読んで、内容を教えていただけないだろうか？ 私は、落語家が客からお題を頂戴して話を作るように、このお題だけを頂戴して論ずることにする。確かに、地球は、我々が考えるような、**自己満足的な、中途半端な愛**では救われぬ。少なくとも、愛とは何かを真剣に考えたことのないような者の愛によって、地球が救われるとは思えない。我々は、この欠陥のある文化によって教育されているために、愛といえば、こそばゆいような感じのする、あの愛しか知らない。もっとレベルを上げて、我々は、憎しみはよく知っており、マザー・テレサが愛の対概念だという、孤独や放置の恐ろしさは想像できるが、それに対立する、本来の愛とはどのようなものを、知らないでいる（もちろん私を含めて！）。というより、考える必要のないことだと思っている。

そこで、人間は、進化すべきものとして生まれてきたと仮定しよう。そもそも同じ意識レベルを繰り返すことに、意味があるとは考えられないから、そう考えるのがむしろ当然であろう。そして、集団的な意識の飛躍的向上が、遠からず、宿命的に予定されていると考えてみよう。その場合、人類全体に対する、一種の資格試験のようなものがあると考えられないだろうか？ これもあって当然だろう。この飛躍の本質は「量子飛躍」（非連続的飛躍）だという人もいるが、それにしても、我々は動物ではないのだから、意識的な準備は当然、必要であろう。（実はこの準備こそ、人類の歴史だったと考えてよい。）

そしてその資格試験には、「愛」というものが、最も大きな課題になると考えるべき、十分な理由がある。少なくとも、AI（人工知能）を発達させて、人間を廃止してしまおうというような、科学の発達ではありえない。我々は人類歴史上、特別な時代に生きている。その表れの一つとして、この試験課題が急速に意識されてきた。意識せざるをえなくなってきた。我々の世界は今、どう見てもキチガイじみた様相を示している。これを否定する人はいないだろう。我々のサイトを通覧していただくだけで、納得できるはずだ。本来、人間のやるはずのないことが、堂々といわれ、それが日を追ってエスカレートしている。

ペドフィリアの蔓延という現象は、その最も深刻だが、つながった集団狂気の一つにすぎな

い。ひどい例は——信じられないが——犠牲者が幼児どころか、乳児であることも少なくない。これは悪霊現象としか考えられない（人間が責任を免れるわけではない）。国家としては、イギリスやオランダは、ペドフィリアを禁止するより許容する方向に向かっている——インド（このために死刑復活）、パキスタン（公開処刑）、フィリピンなどは、逆に、極刑採用に向かっている。このキチガイ沙汰も、自然に考えられることではない。**何者かが、愛の裏返しのあり方を、同じ性行為を通じて、我々に強制して見せつけようとしている。**我々の中途半端な“愛”は、このような愛の裏返し（サタン行為）につながる可能性があるぞという、警告を発している。と、そのように解釈しなければならない。我々の愛が本物の愛でないかぎり——「愛は地球を救わない」。

我々は、悪の極限の形を見せつけられるとことによって、本当の愛とは何かを考える、きっかけにしなければならない。ただ怒り狂う、サタンを憎む、あるいは目をそらす、というだけでは我々は成長できない。受動的でなく能動的に、逃避的でなく自己実現的に、この苦難の時代を乗り越えねばならない。死ぬかもしれない。死んでもよいではないか。死んでも、我々は小さな自分に囚われて死んだのではない、門を開こうとして死んだのである。

宗教を持ち出したくはないが、我々は宗教的に間違っていたのではないか、という思いが、この転換期には起こってくる。少なくとも組織化された宗教には、ある共通の弊害がある。いつか、イルミナティの逆説の哲学者 Hidden Hand の哲学について触れたことだが、どの宗教でも、エデンの園の神話に明らかなように、悪に触れないように、悪を遮断して「箱入り娘」のように生きることが、是とされる。したがって、どこの宗教でも、「ここにつながっていれば大丈夫」という自己満足感を生み出している。これは確かに、ある程度まで人を満足させるが、そこで育まれる「愛」は、規模の小さいものではないだろうか？ 他宗を排除していないと言っても本質は変わらない。それはサタンを含まないからである。サタンにはサタンの存在理由があって存在している。**本当に地球を救う愛**とは、我々の小さな世界の愛を延長したものでなく、我々の世界の存立の原理を変えてしまうような、規模の大きな愛、神の愛に近い愛なのではないだろうか？